

病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



名古屋市東山動植物園(名古屋市千種区)

## 基本方針

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化    |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担    | 5 研修・教育・研究の推進      |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実    | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

## 患者さんの権利

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利          |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利     | ○診療録の開示を求める権利           |
| ○個人情報保護の権利          | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利       |                         |

## お願い

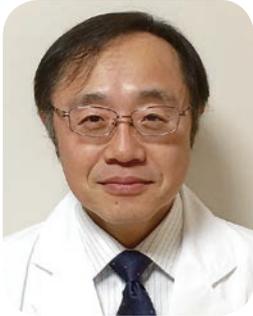
- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

## もくじ

巻頭言 .....	2	医療最前線 .....	6
ドクターよもやま話 .....	3	連携医紹介 .....	7
職場紹介 .....	4	外来診療担当表 .....	8
トピックス・新任医師紹介 .....	5		

# 巻頭 言

## がん 診 療



副院長  
竹田 伸



近年、がんの診断や治療法は大きく進歩し大幅に治療成績は改善しています。しかし、日本人の死因第1位はがんであり、3人に一人はがん罹患し、うち半分はがんで亡くなっています。

当院は、全国がんセンター協議会加盟施設（全がん協）かつ地域がん診療連携拠点病院です。この2つについて解説します。まず、前者の全がん協ですが、国立がん研究センターを中心に非常に古く昭和48年から設立され、緊密に協力し合って、がんその他の悪性新生物に関し、予防、診断および治療などの向上、調査研究並びに医療関係者の研修を行う病院や医療施設で現在32施設（全がん協かつ都道府県がん診療連携拠点病院、21施設、全がん協のみ11施設）で構成されています。愛知県では愛知県がんセンター中央病院と当院が加盟しています。この成果は、国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」ganjoho.jpで閲覧できます。中に、「全がん協全体の生存率」や「それぞれのがんの解説」で大腸がん、食道がんがわかりやすく解説さ

れています。

一方、後者のがん診療拠点病院は、平成19年4月に「がん対策基本法」が制定され、地域のがん診療の中核となるがん診療連携拠点病院の整備が全国的に進められました。これは全国どこでも同じように質の高い・安全ながん医療の均てん化が目的ですので、都道府県がん診療拠点病院は一つずつであり、全国で50施設、愛知県では愛知県がんセンター中央病院が指定されています。さらに2次医療圏に約1か所を目安に整備するという目的で、当院も地域がん診療連携拠点病院に指定（都道府県知事が推薦し厚生労働省が認可する）されています。年400件以上のがん手術、化学療法などの抗がん剤治療1000人以上、緩和ケアの実施数の多さなどが指定の条件になっています。

当院は、がん診療に携わる各科に加えて放射線治療科、臨床腫瘍科、緩和ケア科があり、各科だけでなく、横断的・専門的ながん医療の提供、がん患者に対する相談支援および情報提供などを行っています。

10月27日には、金シャチフェスタで市民公開講座「肝臓診療の現状と今後の展望」を予定しています。その際、皆様からの質問や疑問などに丁寧にお応えする場も設けております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## ドクター よもやま話 コーヒーに 「発がん性物質」は 本当なのか？



循環器科医師  
山下 健太郎



アメリカの大手コーヒー販売店は、発がん性が疑われる物質が含まれることを明記すべきとの判決が出たことはご存知でしょうか？世界中で最も飲まれている飲み物の一つであるコーヒー、実際に健康に影響を与えるのでしょうか？

今回問題となった物質は「アクリルアミド」という物質で、元々のコーヒー豆には含まれておらず、焙煎という工程で生成されてきます。コーヒーに限らず、糖分やアスパラギンというアミノ酸が含まれる食材を120度以上加熱することで生じます。ポテトチップスやクッキー、焼いたパン、麦茶、ほうじ茶など、多くの食べ物に含まれているのです。アクリルアミドは動物実験で発がん性が指摘されている物質ですが、人間における大規模な疫学研究では、食事から摂取したアクリルアミドと癌との明らかな関連は示されていません。

近年、コーヒーの摂取量と死亡リスクの関連についての調査結果が続々と報告されています。イギリスの住民50万人を10年以上追跡調査した研究では、コーヒーを飲まない人に比べて、コーヒーを飲む量に応じて死亡率が減少する傾向があり、1日6

〜7杯飲む人は死亡率が16%低かったのです。日本人9万人を約20年追跡した調査でも同様に、1日3〜4杯飲む人は死亡率が24%低下していました。詳細にみると、心血管、脳血管、肺疾患での死亡が減少しており、一方、がん死亡に変化はありませんでした。ほかの研究では一部のがんは減少するとの報告もあります。

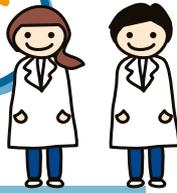
数百あるコーヒー含有物のうち、なにが、良い効果をもたらしているのでしょうか？その一つとしては、ポリフェノールの一つである、クロロゲン酸が有力視されています。血糖値改善、血圧を調整する効果、抗炎症作用があるとの報告がありますが、残念ながら深煎りにすると減少するそうです。また、カフェインは血管内皮の機能を改善や利尿作用、気管支拡張作用があるといわれています。一方で、先ほどのイギリス住民の研究では、カフェインの影響は乏しい、という結果が出ており、まだまだ研究が必要なようです。

悪い点も一つ。コーヒーを直接煮出す製法のコーヒーは高脂血症発症に関連します。ジテルペンという成分が原因と判明しており、これは普段よく見るペーパーフィルターを通すことで除去することができます。日本で一般的に発売されている製品はこの過程を経ているのでご安心ください。

最後に大事なこと、コーヒーは薬ではありません。無理して飲む必要はありません。忙しい毎日に、コーヒーなどをゆっくり飲むリラックスした時間を作ることが、良い効果の隠された要因かもしれません。



# 職場紹介



## 臨床工学室

臨床工学技士長 高井 浩司

臨床工学技士が国家資格になったのが、およそ30余年前ですが、当院ではそれ以前より「療工室」という部署で現在の臨床工学室の基となる業務に携わっていました。

臨床工学室の業務を大別すると医療機器の貸出や点検などを実施する医療機器管理業務と各診療科での治療や検査等に関わる臨床支援業務です。

そのうちのひとつの医療機器管理業務



ですが、人工呼吸器や輸液ポンプ、シリンジポンプなどは中央管理とし、安全に治療を受けて戴けるように、一患者さん使用毎の点検整備と毎年の定期点検を院内にて実施しています。



一方、臨床支援業務では透析室や救命センターでの血液浄化、心臓手術で使用する人工心肺装置をはじめ生命維持装置の操作、循環器部門においては心臓カテーテルや不整脈治療、ペースメーカーなどの植え込み型機器の管理に関わる業務をおこなっています。また、近年では内視鏡下手術用ロボットや脳深部刺激装置にも関わっています。

医療機器管理、臨床支援のいずれの業務も緊急対応ができるよう休日や夜間もオンコール体制をとっています。

さらに来年度からはより迅速な対応ができるよう、職員が24時間院内にいる体制をとる準備を進めています。

## 中3階病棟

中3階病棟は血液内科の病棟です。白血病や悪性リンパ腫など血液の病気をもった患者さんが多く入院しています。入院している患者さんは、化学療法や輸血治療をされており、病棟では毎日、たくさんの種類の薬剤を取り扱っています。そこで、平成29年から平日の日勤帯は、看護師2名でペアになり患者さんを受け持つ体制をとっています。受け持ちの患者さんそれぞれが、安全に治療を受けることができるように、2



名の看護師がコミュニケーションをとり、お互い確認しながら、その日の点滴やケアを実践しています。また、治療によって、免疫力が低下した患者さんへの感染予防指導や食事指導を行い、入院中だけでなく、退院後も患者さんが安心して生活できるように医師や栄養士をはじめとした多職種と連携し、関わっています。患者さんへのきめ細かい関わりを心がけ、心のこもった看護が提供できるよう努めています。

# トピックス

## チームで行う急性期脳梗塞治療

脳神経外科 診療看護師 加藤 美奈子

平成28年国民生活基礎調査の概況（厚生労働省）によると、要介護5（寝たきり状態）となった原因として、脳血管疾患（脳卒中）が30.8%を占め、同年の死亡原因第4位となっています。脳卒中の内訳として、3/4が脳梗塞、残りの1/4が脳出血またはくも膜下出血です。脳梗塞の罹患数は高齢化とともに年々増加しており、最近では脳梗塞を疑ったらすぐに救急車を呼びましょう、という啓蒙ポスターを見かけることも多くなってきました。



脳梗塞は、脳の血管が詰まり、酸素や栄養が行き渡らず、脳細胞が障害される病気です。血管が閉塞することで脳細胞は1分間に190万個の神経細胞を失うと言われており、完全に壊死する前にできるだけ早く血流を再

開させる必要があります。治療法としては、t-PAという血栓（血の塊）を溶かす薬剤を点滴から投与する方法が2005年から行われてきました。しかし、t-PAの効果が乏しい、使用できない場合には脳血管内治療が有効であるケースがあり、当院では積極的に取り組んでいます。血栓回収療法は血栓内にステントを展開し回収する方法と、太いカテーテルにより血栓を吸い取る方法があります（図1）。来院してから再開通までの時間が9分遅れるごとに1/100人の予後が不良になるというデータが出ています。ほぼ全例が緊急対応となり、再開通までの時間を1分でも短縮できるか、まさにチーム力を必要とする治療です。

治療に必要なとされるカテーテル等は、誰もが分かるようにひとつのワゴンに準備し、細々した物品は出しやすいように常に袋にまとめてあります。また介助する看護師の視線と導線を意識した物品配置としました。患者さんの安全安楽にも配慮しながら、チーム内で日頃から気になることを口にし、多職種で解決策を工夫し合っています。患者さんの機能予後アップという目標に向かって、今後もチーム力をアップさせる努力を続けたいと思います。



図1 血栓回収療法の模式図

## 新任紹介

### 医師



放射線科医師 宮川 聡史

7月より放射線科治療部門に赴任いたしました。以前は沖縄県の南部徳洲会病院に3年間勤めておりました。できる限り患者さんのためになる診療を心掛けたいと思います。ご迷惑をお掛けすると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

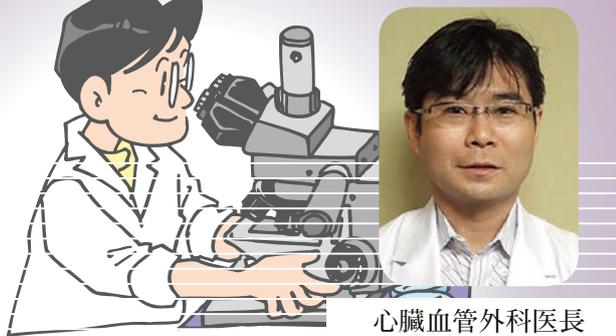


分子診断研究室長（血液内科）  
安田 貴彦

本年7月から血液内科外来を担当させていただくことになりました。臨床研究センターとの兼任である点を生かし、臨床・研究の両方の視野から最適な医療を提供できるように心がけていきます。

# 医療最前線

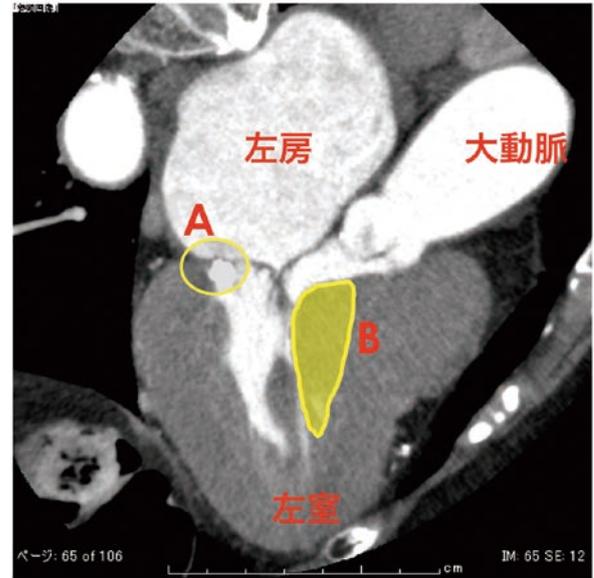
## 心臓外科手術と multi-detector row CT



心臓血管外科医長  
萩原 啓明

心臓外科の手術の対象となる病気に、心臓弁膜症、心筋疾患があります。手術の前に、心筋、心臓弁がどのように悪いのか、形態診断をする必要があります。形態を診断する手段として、CT、MRI検査などがありますが、これらは、たとえば脳や、肝臓など動かない臓器の撮影にはとても有用で、精密な画像が得られ、正確な診断につながりますが、心臓はずっと拍動して絶えず動いている臓器のため、通常のCTなどでは、きれいな画像が得られず、(動きの速いものを普通のカメラで撮影しても写真がぶれてしまうように)心臓疾患には向いていないとされてきました。そのため、心臓弁、心筋疾患の診断の主力は現在まで、動く心臓をリアルタイムで観察することができる心臓エコー検査のみでした。そこで、CT検査に改良が加えられ、速いスピードで動いているものをぶれずに撮影できるハイスピードカメラのように、最新のCTは心臓を撮影できるようになりました(multi-detector row CT)。当院のCTは、CT装置の性能が進化したことに加え、撮影方法の工夫、解析ソフトの改良によって、さらに鮮明な画像が得られるようになっていきます。

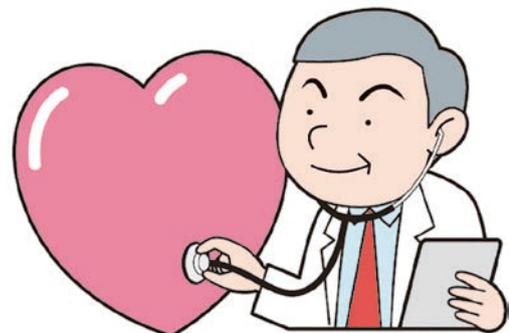
このことにより、心臓手術前の診断が正確になり、手術プランが高い精度でたてられるようになった



め、手術が安全になり、且つ手術効果が確実なものになりました。

ひとつの例ですが、図は、左室のCT画像です。この患者さんは、左室の流出路が狭くなる病気で、CTにて心筋が部分的に肥大していること、心臓の弁(僧帽弁)の位置が偏移し、前方に向かって飛び出していることが原因で、僧帽弁を5mmほど切除して、後ろに下げること、肥大した心筋を10mm弱切除すればよいことが術前にわかりました。そのとおりに手術を行い、手術後、患者さんを苦しめていた胸痛はまったくなくなりました。

画像診断の向上は、心臓外科領域においても手術治療の進歩に寄与していくものと考え、今後も更なる改善に努めてまいります。





## 庄内通レディースクリニック

院長 三輪 美佐

当院は平成25年3月に西区庄内通に開業しました。地下鉄鶴舞線庄内通駅東側徒歩2、3分のところに位置し、目の前にはイオンモール、周囲には内科、皮膚科、耳鼻科のクリニックが並んでいる地域です。

当院は、妊婦健診、婦人科検診はもちろんのこと、小児婦人科疾患(高校生以下)の患者さんが多いことが特徴のひとつだと思います。子供たちの生理痛、生理不順やかゆみなどが意外と多く、お悩み相談などもあります。

名古屋市立城北病院、西部医療センターでの勤務医時代から名古屋医療センターの産婦人科には特に悪性腫瘍の患者さんでお世話になってきました。



当院からは距離的にも近く紹介しやすい病院のひとつです。

今後ともよろしくお願いたします。

### 庄内通レディースクリニック

所在地：〒451-0015 名古屋市西区香呑町6-5-0  
ノーステラス庄内通1階

電話：052-522-3800

診療科目：産婦人科

URL：http://www.shounaidori-lc.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	×	○	○	○
午後3:00~ 6:00	○	○	×	○	○	×

休診日：水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

## 医療法人オリエンタルクリニック

理事長 廣瀬 光彦

当院は、昭和48年に人間ドックを開設いたしました。予防医学にいち早く着目した、人間ドックの先駆的存在です。開設以来、受診者は80万人を超えました。

「すべての人が健康でいつづける為に」を基本理念に、予防医学のエキスパートとしての責務と、お客さまへ常に笑顔で接するホスピタリティを大切にしています。健診後には、医師の結果説明や必要に応じて専門医紹介など、フォローアップにも力をいれています。また内科、皮膚科、消化器内科、乳腺外科の診療も行っており、健診後の再・精密検査も受診可能です。

オリエンタルでは年に一度の人間ドックを推奨しています。特に働き盛り・子育て世代の40歳からは罹患率の上昇する年齢ですので、全身のチェックをおすすめします。



### 医療法人オリエンタルクリニック

所在地：〒470-8691 名古屋市千種区今池1-8-5

電話：052-741-5181

診療科目：内科、皮膚科、消化器内科、乳腺外科

URL：http://www.oriental-gr.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後2:00~ 4:30	○	○	○	○	○	×
午後4:30~ 6:00	○	×	○	×	○	×

皮膚科は月・水・金のみ、乳腺外科・消化器内科は予約制  
休診日：第一土曜日・日曜日・祝日

外来診療担当表

Table of medical services including Internal Medicine (消化器, 呼吸器, 循環器, 内分泌, 膠原病内科, 腎臓内科, 神経内科, 総合内科), Ophthalmology (内視鏡室), Dermatology (臨床腫瘍科), Psychiatry (禁煙外来, 緩和ケア科), Neurology (脳神経外科), and Surgery (外科).

\*ストマ外来... 火曜1・2・3・4週 ※中山智医師、萩原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。
\*末梢血管外科は完全予約制です(13:30～15:30)。

○外来受付時間 ○初診/午前8時30分～午前11時 ○再診/午前8時20分～午前11時
○休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日、年末年始(12/29～1/3)
○担当は都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Table of medical services including Plastic Surgery (整形外科), Dermatology (皮膚科), Pediatrics (小児科), Hereditary Disease (遺伝診療科), Otorhinolaryngology (耳鼻咽喉科), Ophthalmology (眼科), Obstetrics and Gynecology (産婦人科), Urology (泌尿器科), Hematology (血液内科), Specialized Surgery (専門外来), Oral and Maxillofacial Surgery (歯科口腔外科), Radiation Therapy (放射線科), and Radiation Oncology (放射線科).

\*遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。\*カウンセリング予約種:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター